

栲原の寒さはこたえる！？ (A cold challenge to me)

「栲原の冬は寒くて厳しい」と聞かされて、僕はワクワクしたものです……こちとらニュージーランドの人間。寒さに山を覆う雪、そんなものには慣れっこさ。栲原の冬がどんなものか、いっちょためしてやろうじゃないの！

……というわけで、今回めでたく体験することになったのでした。

結論から言うと、日本の（栲原の）冬と、ニュージーランドの積雪地帯を比べると、全く別のものだと感じました。ここ最近では毎日のように、栲原ではずっと氷点下の生活が続いています（氷点下での生活は、まだ小さい頃、ヨーロッパで暮らしていた時に経験して以来です！）。なので寒さの点では、ニュージーランドやヨーロッパ諸国での経験と比較してみても、そう大きな違いはないように感じます。



すごいツララ！この寒さのおかげで、僕の家では水道が何日間か全く使えませんでした……。

ただし栲原では……寒さから「逃げる場所」がありません！一般的な建物にはセントラルヒーティングの設備がありませんし、断熱の面でも徹底されていないようです。こうなると、栲原のような山間部での暮らしは、よりキビシイものとなります（あくまで、僕の基準です）。

まあ、そうは言っても、この厳しい日々をかなり楽しんでいたのは確かです。何よりも、雪一面の銀世界は、緑が映えるいつもの景色とはまるで違う、それでいて同じくらい美しい光景でした。もうひとつ気づいたのは、この寒さが栲原の「助け合いの精神」を強めていたことです。ドカ雪の間、ご近所同士でお互いに助け合っておられたようでした。さあ、暖かさが戻り、春の訪れを感じられるのももうすぐです！あの暖かい季節が本当に待ち遠しいのは確かですけど、同じくらいに、次の冬も今から楽しみにしています……だって、寒さへの備えを、今回よりも怠りなくやった上で迎えることができるでしょうから！

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)